

## 地

### 域共生社会を考える

#### 日立市社会福祉協議会「ふくしのつどい」

11月14日、日立シビックセンターで日立市社会福祉協議会創立70周年記念「ふくしのつどい」が開催されました。社会福祉功労者の顕彰式が行われ、長年にわたり社会福祉活動に取り組んできた36人・5団体に表彰状や感謝状が贈られたほか、市内の小中学生福祉作文コンクールの表彰式と最優秀作品の朗読などが行われました。小川市長は「長年の幅広い活動が地域の福祉向上につながっている」と祝辞を述べました。



## 4

### 年ぶりの制限なしで開催

#### 日立市産業祭を実施

11月11日、12日、池の川さくらアリーナで日立市産業祭が開催されました。産業祭は、市内の地場産品を広く紹介し地域産業の振興を図る秋の恒例のイベントで、市内の商業や工業、農林水産業など100を超える企業や団体が参加し、それぞれ自慢の商品やサービスを展示・販売しました。国内親善都市の桐生市、同友好都市の山辺町からも出展し、2日間で約7万人が訪れた会場は、大いににぎわっていました。

## 市

### の観光振興に役立ててほしい

#### 山本忠安氏から1億円の寄附

10月31日、市内在住の山本忠安さんが市役所を訪れ、「まちのにぎわい創出や交流人口の拡大など、日立市の観光振興に役立ててもらいたい」と、日立市に1億円の寄附しました。山本さんは小川市長に寄附金の目録を手渡し、小川市長からは感謝状が贈られました。小川市長は「市の観光振興などのために有効に活用させていただきます」と、心強い寄附への感謝を述べました。

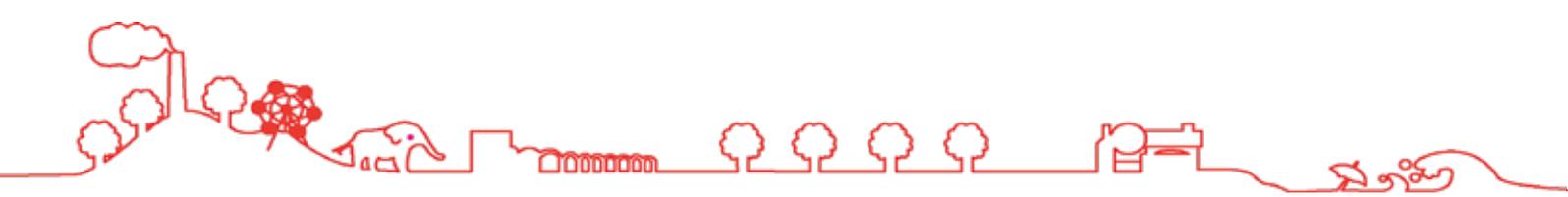


## 子

### どもたちの健やかな成長を

#### オレンジリボンたすきリレー

11月2日、茨城県児童福祉施設協議会と茨城県要保護児童対策地域協議会による「子どもを守ろうオレンジリボンたすきリレー」が行われました。スタート地点の日立市役所から、リレー形式でゴールの茨城県庁を目指し、児童福祉施設の職員などおよそ100人のランナーが参加しました。ランナーたちは、特別支援学校の生徒や保育園児など、多くの人から声援を受けながら、たすきをつないでいきました。



4

#### 年連続の頂点

#### 茨キリ高陸上部が県大会優勝

10月28日、ひたちなか市総合公園陸上競技場で県高校女子駅伝が行われ、茨城キリスト高が4連覇を達成しました。1区から5区まで一度も首位を譲らず、強さを見せるレース展開となりました。同校は12月24日に開催される全国大会に出場します。主将の山形一華さんは「今まで練習してきたことを全て出し切り、1秒にこだわって全力で走ります。応援よろしくをお願いします」と大会への思いを話しました。



2

#### 冠を目指した挑戦が始まる

#### 明秀日立高サッカー部が県の頂点に

11月12日、県立カシマサッカースタジアム（鹿嶋市）で行われた、高校サッカー選手権大会茨城県予選決勝において、明秀日立高が霞ヶ浦高（阿見町）を4対0で破り、優勝しました。インターハイで全国制覇を果たした同校は、夏冬2冠を目指し、来月から行われる全国大会へ出場します。萬場監督は「全国大会では、もう一度挑戦者として望みたい。2冠した高校は、史上5校しかないので、狙っていきたい」と意気込みを語りました。

初

#### 初めての戴冠

#### 明秀日立高女子バレー部が春高バレー県優勝

10月28日、池の川さくらアリーナで全日本バレーボール高校選手権大会県予選（女子）が行われ、決勝では、明秀日立高と日本ウェルネス高（笠間市）が対戦。昨年王者を相手に2-1で逆転勝利を収め、初めての優勝と、来年1月に行われる全国大会への切符を勝ち取りました。川村監督は「関わるすべての人に感謝したい。地元日立地区出身の選手が主力のこのチームで、全国でも勝ち進めることを証明したい」と話しました。



日

#### 本酒の魅力を伝えたい

#### 森島酒造が関東信越酒類鑑評会で優秀賞

11月8日、関東信越国税局（さいたま市）で、日本酒の出来栄を審査する「酒類鑑評会」が開かれ、森島酒造（川尻町）が「吟醸酒・純米吟醸酒・純米酒」の全3部門で3年連続の優秀賞に選ばれました。同社は10月に行われた県清酒鑑評会の吟醸酒の部でも最高賞の県知事賞に選ばれています。杜氏の森嶋正一郎さんは「地元の方の支えやスタッフの努力が上位入賞につながった。この結果を励みに、酒造りを続けていきたい」と喜びを語りました。